

－ 高槻さくらフォーラム － 議会だより 平成24年秋
高槻市議会議員 田村規子の

発行者：高槻市議会議員 田村規子 事務所/高槻市梶原1-10-6 TEL684-2220 FAX647-6398



高槻市議会議員

田村規子(たむらのりこ)

★昭和38年5月高槻市梶原生まれ(旧姓・長谷川規子)

★高槻市立五領小学校、五領中学校、ノートルダム女学院高校、京都ノートルダム女子大学卒業

★京都宝ヶ池プリンスホテルに5年間勤務

★社会保険労務士。

★平成23年高槻市議会議員に初当選。すべての市民が元気で明るく暮らせる、コミュニケーションあふれるまちづくりを目指して活動中。

平成23年度の決算審査特別委員として審査を行いました。決算審査特別委員会は9人の委員で構成され、平成24年10月に4日間行われました。審査のため24項目にわたり合計約140分間質問をしました。



市営バス約4,100万円の不明金判明

平成24年1月に市営バスの乗合収入において不明金判明し、内部調査の結果、不明金の一部が営業所長1名及び運輸主任2名により窃取されていたことが発覚した。約1,700万円が未だ不明金として、その原因が特定されていない。決算審査で市営バスの管理体制、組織風土について正し、その改革・改善を強く求めました。今後もそれらの取組を厳しく注視していきます。

生活保護受給者が増加

増加し続ける就労可能な生活保護受給者の就労支援の方法と成果について正しました。専門の就労支援員により、担当ケースワーカーと連携し支援を行い、過去3年間の就労達成率は徐々に上昇傾向にあるとの答弁だった。この制度を支える人が公平感を実感できるように更なる自立支援の強化を要望しました。

6月議会

「高槻市議会国旗等掲揚条例の制定」について

自由民主党高槻市議会議員団代表が6月定例会に議員提出議案として、議場内に国旗等の掲揚を定めることとする高槻市議会国旗等掲揚条例制定を上程しました。詳細な審査をするため、議会運営委員会へ付託され継続審査となりました。

発達障がいをもつ子どもに0歳から18歳までの継続的な支援を

平成24年4月から高槻市では子育て総合支援センター(通称カンガルーの森)に児童発達支援チームが創設された。他市の事例を見てみると、中学校から高校、そして就職に至るところで支援が途切れないようなくみづくりが課題とされているので、その点を留意した取組を求めました。

妊婦にも養育支援を

子育てに悩みや不安のある家庭に、養育支援訪問員が訪問し身近な相談に応じる事業において、今年度支援員を保育士などの有資格者10名を採用し、対応体制の整備を図ったため、利用件数が増加したことによる増額補正が上程された。利用できるのは、案内等では産後間もなくから概ね乳幼児までとなっているが、妊娠期からの支援も対象であり、妊婦にもHP等で知らせて支援をすることを要望しました。

市営バス上牧地域へ運行

平成25年4月から市営バスの運行路線を上牧地域まで延長に関する条例の一部改正について、多数賛成で原案を可決しました。平成24年4月からの路線開通に向けて道路整備、バス停設置工事等が安全に取り組まれるよう、地域の方の声を聞き注視していきます。

新名神高速道路および関連道路等を現地視察

平成24年10月3日、新名神・交通体系等対策特別委員会で現地視察をしました。成合地区の高槻ジャンクションでは、予定地とほぼ同じ高さのところまで上がりますと市内が見渡せました。イオン高槻屋上から萩之庄梶原線を、また、上牧小学校の屋上から凍結解除になった新名神高速道路の高槻インターチェンジ以東の区間の事業予定箇所を視察しました。現状の工事もさることながら、これから高槻インターチェンジより東へ、淀川を横断して進められる箇所についてもしっかりと地域の方の声を聞いてまいります。



平成24年度の委員会

議員2年目の平成24年度は、下記の委員として活動しておりますのでご報告いたします。

- *「福祉企業委員会委員」(常任委員会)
保健医療・福祉・市営バス・水道に関すること
- *「新名神・交通体系等対策特別委員会・副委員長」(特別委員会)
新名神高速道路や環状幹線道路等の整備促進と沿道のまちづくり
- *「議会だより編集委員会委員」
議会の報告紙「議会だより」の編集
- *「高槻市議会政治倫理審査会委員」
- *「高槻市社会福祉審議会委員(地域福祉部会)」
- *「高槻市保健所運営協議会委員」



©2011 Takatsuki City

濱田剛史市長に平成25年度予算要望を提出

平成24年10月22日に自由民主党高槻市議会議員団より平成25年度予算要望を提出し、濱田市長に説明をしました。

- *危機管理について(自主防災・セーフティボランティア・青パト等)
- *本市東地区への図書館建設
- *青少年教育、生涯教育のための宿泊施設建設
- *児童発達支援センターの充実と施設設置
- *病後児保育の充実と病児保育の導入
- *高槻の歴史遺産、伝統芸能、先人顕彰等をベースとした文化振興策の体系的整備と内外への発信
- *福祉関係行政に関する基本姿勢について
- *三箇牧地区の基幹農業水路の改修と「親水道路教育公園」の早期実現